

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子どもの保健 I B	講義	2	黒瀬 久美子
【授業のテーマ及び到達目標】 子どもの命を守る(養護)こと及び子ども自身が命を守る力をつける(教育)を目的に以下の目標を目指す。 到達目標 ①子どもの病気について、理解し説明することができる。②子どもの病気の予防方法について、理解し説明できる。③集団生活における子どもの健康及び安全対策について、理解し説明できる。			
【授業の概要】 子どもの病気さらにけが・事故・災害について理解を深め、子どもの命を守り、子ども自身が人とともに生きる力を育む上での健康と安全に関する問題を様々な角度から学び、実践に結び付けていく。			
【全体の授業計画・内容】			
1. 健康及び安全とコミュニケーション体験			
2. 異変に気づき、問題の所在を知る			
3. 地域における保健活動と虐待防止			
4. 子どもの病気の特徴			
5. 子どもの病気① 感染症とは			
6. 子どもの病気② 呼吸器の病気			
7. 子どもの病気③ 循環・血液・消化器の病気			
8. 子どもの病気④ 泌尿器・生殖器・皮膚の病気			
9. 子どもの病気⑤ 整形外科・口腔・眼・耳・鼻の病気			
10. 子どもの病気⑥ その他の感染症			
11. 子どもの病気の予防方法① 予防接種の目的・種類・対象・間隔			
12. 子どもの病気の予防方法② 感染の予防方法・登園の目安と対応			
13. けがと事故のリスク及びヒヤリハット報告の意義			
14. 自然災害とリスク・マネージメント			
15. 試験及びまとめ			
【準備学習の内容】 予習のあり方:メディアなどを通して子どもの病気(特に感染症)・事故の情報に関心を持つこと。 学習のあり方:子どもの成長発達段階と結びつけて学び、感染症は毎回一覧表にポイントを記載してこと。 復習のあり方:常に自分の言動・行為が、子どもの命を脅かすことにつながっていないかを検証すること。			
【成績評価】 筆記試験 70% 提出物・学習シート 30% 授業中の私語等迷惑行為は減点対象とする。			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】 授業の振り返り及び枠内にポイントを記載するトレーニングのために、授業終了後毎回学習シートを提出し、内容確認後次回に返却する。(必要に応じてコメントを入れる。質問・疑問は授業時に解説する。)			
【テキスト】 1、高田正子編著「心とからだを育む子どもの保健 I」教育情報出版 2、黒瀬久美子著「うちの子って変?子どものつぶやきからはじまる親子性教育」明治図書			
【参考文献】 「保育所における感染症対策ガイドライン」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」			